

平成 20 年 11 月 日

各位

(財) 衛星測位利用推進センター
東京大学 空間情報科学研究センター
内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション)担当 付
国土交通省国土計画局
国土交通省国土地理院

地理空間情報の利活用に係るアンケート調査のお願い

ますますご清祥のことと存じます。平素はご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年5月に成立した地理空間情報活用推進基本法及び同法の規定により本年4月に閣議決定した地理空間情報活用推進基本計画、さらに本年8月に政府の地理空間情報活用推進会議にてとりまとめた地理空間情報の活用推進に関する行動計画（G空間行動プラン）に基づき、政府としても、地理空間情報の活用推進に関する施策を鋭意進めているところです。

しかしながら、地理空間情報を高度に活用する社会を実現していくためには、国・地方自治体、産業界、学界がそれぞれの役割に応じて、地理空間情報の整備・更新・提供・流通、地理情報システムや衛星測位についての技術開発及びシステムやサービスの提供、関連する制度や標準の整備・普及等を行っていく必要があります。これらにあたっては、関係者のニーズを十分に把握し、相互に連携を図りながら進めていくことが必要です。そのため、このたび、産学官関係者が一同に会し、地理空間情報産学官連携協議会及びその下部組織である、地理空間情報の利活用に資する共通的な基盤技術に関する研究開発ワーキンググループ（研究開発WG）を設置しました。

研究開発WGは、産として（財）衛星測位利用推進センター 専務理事、学として東京大学空間情報科学研究センター センター長、官として内閣府施策統括官(科学技術政策・イノベーション)担当 付参事官/国土交通省計画局参事官/国土交通省国土地理院企画部長が幹事を務めています。

研究開発WGの活動は、地理空間情報の利活用に資する産学官の研究開発全般の動向を幅広く把握し、地理空間情報の利活用に関連する研究開発について、産学官の間で情報の交換、共有を進め、議論などを通じて理解を深めることで、研究開発の総合的、且つ、効果的な推進を図ることを目的としています。

つきましては、研究開発WGの活動のベースとなる研究開発動向/ニーズを、利活用の視点から広く募るため、アンケート調査を企画しました。ご多忙のところ恐縮ですが、添付のアンケートにご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

記

1. 回答期限 : 平成 20 年 12 月 日

2. 回答送付／問合せ先 :
(財) 衛星測位利用推進センター 吉田 富治 / 渡辺 永作
〒102-0083 東京都千代田区麴町 4-4-7 麴町 DUPLEX B's 6 階
TEL : 03-5216-5457 FAX : 03-5216-5455
e メール : yoshida.tomiharu@eiseisokui.or.jp
watanabe.eisaku@eiseisokui.or.jp

3. 参考資料 (添付)
 3. 1 地理空間情報活用推進基本法 (NSDI 法) の概要
 3. 2 地理空間情報活用推進基本計画の概要
 3. 3 衛星測位と地理空間情報 技術融合の活用分野 (SPAC 資料)
 3. 4 地理空間情報活用推進合同部会資料 (平成 20 年 7 月 16 日)
地理空間情報の利活用推進に係る研究開発 (R & D) 事業の提案
 3. 5 地理空間情報活用推進合同部会資料 (平成 20 年 7 月 16 日)
地理空間情報活用推進に係る経済産業省の取組等について

以上

地理空間情報の利活用に関連した 技術開発、アプリケーション(利活用方法) などに関する調査票

この調査票は、地理空間情報の利活用に関連して「研究開発すべきと考えられる技術」に関しまして、Q1、Q2の各項目に応じていただくものです。

Q1では、研究開発すべきと考えられる技術について、

1. 技術開発の内容
2. 技術開発はなぜ必要か？うまく開発できれば、何に使えるか？
3. 既存の技術ではなぜ使えないのか？ どこが使えないのか？
4. 技術開発の難しさはどうか？適用できそうな技術的シードはあるか？

の4項目につきまして、フリーテキストで回答していただきます。

それぞれの回答はこのシートの下にあるタフから「Q1」等を選択して、記入していただきます。

Q1に関しては、開発すべき技術が複数個ある場合はシートをコピーしていただきご記入ください。

Q2、Q3についても、複数ご回答いただける場合には同様にシートをコピーしてご記入いただくようお願い申し上げます。

(シートをコピーするためには、編集(E)=>シートの移動またはコピー(M)を選択して、シートをコピーするをチェックしてください。)

忘れずにご記入ください

回答者氏名

所属

電子メールアドレス

研究開発すべきと考えられる技術

研究開発すべきと考えられる技術について、以下の4つの項目にフリーテキストで記入してください。

1. 技術開発の内容

| |
|--|
| |
|--|

2. 技術開発はなぜ必要か？うまく開発できれば、何に使えるか？

| |
|--|
| |
|--|

3. 既存の技術ではなぜ使えないのか？どこが使えないのか？

| |
|--|
| |
|--|

4. 技術開発の難しさはどうか？適用できそうな技術的シードはあるか？

| |
|--|
| |
|--|

地理空間情報に関連して、今後重要と思われる
アプリケーション(利活用方法)について

以下の項目にフリーテキストで記入してください。

1. 今後重要と思われるアプリケーションの内容

| |
|--|
| |
|--|

地理空間情報などをより高度に利活用するために解決すべき課題
(技術開発に関するもの以外。制度、運用、組織体制など何でも結構
です。)

以下の項目にフリーテキストで記入してください。

1. 地理空間情報などをより高度に利活用するために解決すべき課題
(技術開発にかかわるものはQ.1にお答えください。)

| |
|--|
| |
|--|